月刊婦人政治雜誌

婦選

昭和二年　八月號　第一卷第七號

□婦選第七號主要目次□

▼二つの問題
▼女高師問題……與謝野晶子
▼此の頃の婦人雜誌の傾向……生田花世他數十氏
▼婦選講座……ガントレット恒子
▼農村に還る婦人を望む：竹内茂代
▼陣頭の人市川房枝女史：伊藤伸子
▼茨城行……金子しげり
▼市川女史を迎へて……高桑菊子
▼內外時事、婦選ニュース、婦人界片々、麹町だより、其他

二つの問題

□

婦選獲得同盟の本年度第一回の會員倍加運動は七月一日より一週間を期して行はれ、會員及中央委員は各責任數を掲げて新會員の募集に努めた結果、約七十名の入會者を得た。七十の數は四百會員の責任數全額に對しては二割に充たぬが動かなければ、七十は愚か、三十も二十も困難なるを思へば、相當の收獲として欣ばねばならない。然し乍ら、一方會費滞納者にして數回に亙る督促にも何の反應をも示さない事實上の幽靈會員に對しては、毎年相當の整理を行ひつゝあるから、本年の會費納入期にも多少の退會者を出だした事と思はれる故結局數に於ては增減相償つて、激增の域には、まだ數年を經なければならないであらう。

此の事はともすれば運動の不振を示すものゝ如く見做され易いが、決してさうではない。獲得の二字に脅えて、理窟は知つてゐても入會を躇る程度の人がまだ〳〵少くない時代であつてみれば、其理窟をまづ知らせる事に時がかかつて終局の入會といふ段取までには、更に遙かに多大の時日を要する。又、理窟としては知つてゐても自分の生活が幸福であつて、直接それ程の必要も興味も感じない爲に、他所事視する人々も少くない。

即ち何れの方面から見てもまだ啓蒙の時代であつて、量的の發展は、寧ろ望む事が誤まつてゐるのである。

婦選獲得同盟の會員は、會員となる事が、決して第一線の運動に從ふ事ではなく、――勿論第一線に起つ事が出來れば申分ないが――寧ろ、後方勤務を以て任じ、會費が運動の財源となる事をのみ込んで、これが納入を怠らないだけの覺悟が必要なのであり、これが行へれば、立派な會員である。されば如何に數的に多くの名を集め得ても、この覺悟の持主でないならば眞の運動の發展は期する事が至難である。

玆に婦選獲得同盟が、敢て會員の量的增加のみに焦慮しない所以が存する。

□

婦選獲得同盟は又今秋を期して資金募集の計畫を有し、已に大體を發表した。これは活動寫眞大會の切符賣上純益により、約一千圓を得やうといふのである。

會員の會費を以て會の運用資金の全てに充つると雖も前項の如き狀態は、當然、會費は恐らくまづ經常費に充てられ、各方面の仕事、即ち各委員會の活動資金は何か特別の財源のない限り臨時に收入の途を講じて得るより他にない。創立以來、同盟は財政の方針をこの一途にとり來つたので本年の活動大會も前項の倍加週間と同じく、年中行事となつて了つてゐる。

催物の切符を賣るといふ方法は蓋し最良のものではないに違ひない。殊に最近の如く、各方面に於て同樣の方法を執る事が多くては全く賣手の同志討の演じ競べであり、結局それ〳〵の團體が共倒れになりはせぬかの憂も十分にある。

然し乍ら、根本的な收入の途を講じるには相當の研究なり準備なりを要するから、從つて足下から鳥どころか、手から口への生活に等しい運動資金の要求に對しては、まづ手取り早い方法で埒を明ける事になり易い。つまりは差當りの方法であり手段である。

□

上述の二つの問題は、互に切つても切れぬ關係におかれてゐる。一つが理想的にゆけば一つは些して心配は入らぬ。二つとも相當にゆけば、互に心配は入らぬ。そこにお互が常に考へ研究してゆかねばならぬ責任が存在する。（S）

婦選ニュース

▽**婦選同盟の會員倍加運動**

婦選獲得同盟では、七月一日より一週間を本年度第一回の會員倍加週間として、會員は會員、會友各一名宛、中央委員は十名宛の責任を以て募集した結果、約七十名程の入會者を得た。

▽**京濱に於ける婦選講演會**

右運動を援ける爲婦選獲得同盟の在濱會員の手で七月二日夜六時から横濱基督教青年會館に於て講演會開催、本部より久布白、市川、金子、竹内の四氏が出演熱辯を揮ひ、支部創立の氣運をあふつた。

次で七日夜東京基督教青年會館に開かれた大演說會には、竹内、金子ガントレットの諸女史の他に全く新顔の山川、高野、藤間の諸氏獅子吼し、非常な盛會であつた。

因に金子茂女史は、日本農民黨の茨城遊說に加はり、五日笠間、六日水戸に於て、農村婦人問題と婦選について講演した。市川房枝氏も桐生に、十日講演した。

▽**關東婦人同盟創立**

幾度か流産を傳へられた同會も愈々七月三日午後一時より本郷佛教會館に無事發會式擧行。執行委員長新妻伊都子氏他十四名の執行委員の手で、着々目的に向つて運動を起しつゝあるが、委員會は非公式に、婦選運動に於ては、差當り婦選獲得同盟の請願運動を助けたいとの意志を示した。

▽**坂千秋氏歸朝す**

昨年六月內務省地方局から婦選調査の爲に歐米に出張した坂千秋氏は六月二十八日歸朝『どこに行つても日本で何故婦選を認めぬかの質問を出されて困つた』との土産話。

▽**社會民衆黨婦人部**

社會民衆黨は近く事業部中に婦人部を新設。之は婦選獲得後の婦人の地位を考慮したので、まづ家庭及法律の相談所を開くと。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

內外時事

三國軍縮會議の經過

六月廿日から開かれた日英米三國軍縮會議は、三國提案が各々異つてゐる爲め一致點を見出すのに幾多の難關が豫想されてゐたが、果して英米の角突き合ひから六月下旬より七月上旬にかけて幾度か決裂を傳へられた。

最大難關は巡洋艦で、英は艦型制限、即ち一萬噸級(備砲八吋)七千五百噸級(備砲六吋)の各級に就き制限協定せんとしたが米は噸數制限で、英米二十萬噸乃至三十萬噸、日十五萬噸乃至二十萬噸を振り當てんとしたので、英は更に、隻數制限英米に各一萬噸級十五隻、七千五百噸五十五隻、を要求し、英米兩案の差が餘りに甚しいので、米は其の後、英米四十五萬噸案を出して對英讓歩を示したが日本はこれでは軍縮どころか、軍擴會議であるとして、巡洋艦 驅逐艦を一括して水上補助艦の噸數制限に出で、英米四十五萬噸、日三十餘萬噸を提案した。之は米の最初の提案に一致し唯日本の二十七萬噸を三十餘萬噸、即ち五に對する三以上を要求したもので、之案によつて初めて多少とも軍縮の目的が達成出來る譯である。

そこで度々專門委員會、三國全權の非公式會合によつて、秘密裡に妥協點の發見に苦心したが、愈決裂の土俵際で、英國が折れて出たので、漸く七月十四日の第二回會議開催に漕ぎつけた。

この議會で英國は隻數制限案に出たのは、比較的攻擊力のある一萬級を或る程度迄保持して海軍國の成容を整へると共に、比較的攻擊力の少ない小型巡洋艦を多數保持して散在せる領土を防禦せんとしたので、著しこの級別制限に失敗すれば、米國は巡洋艦總噸數を悉く攻擊力の大な一萬噸に仕立上げるおそれがあるからである。

米國はやはり總噸數制限に出でた。出先根據地に乏しく、從つて遠洋進出の要多き米國が、總噸數を悉く一萬噸級に作る譯であるは當然の要求といへる。

日本は米國提案の最低級英米四五萬噸を基礎として日三十餘萬噸要求の巡驅一括說を保持した。

其後英の讓歩で英米五十萬噸とし、日本はその六割八分七厘の比率を以て妥協するに至つたが、米國はそれに不滿を發表し、直ちに本國に請訓を仰いだ後、延日各國間に交涉行はれ、結局十九日三國全權非公式會議の結果前記妥協案を基礎として英米五十萬噸、日本三十二萬五千噸を以て妥協成立の形勢になつたが、二十日英全權が本國政府と打合せの爲に突如歸國した爲、會議は自然休止する事となり、英全權の歸國は米國の態度强硬から日英妥協案の一部改訂の爲と測定され日本側の感情を害したが、米政府は全權に對して英米の絕對對等を電訓した狀態にあり、今後の雲行はたゞならぬさまと觀測されてゐる。

▼支那の時局

蔣介石、唐生智、馮玉祥の北伐軍は三路とも美事に成功、一擧山東、直隸を突くかと思はれ、日本の出兵もこれを見越したからであつたが、六月中全く停戰狀態に陷つた。これは張作霖、蔣介石、唐生智、馮玉祥、閻錫山の五勢力が兵力戰よりも政治戰に入つたからでその一つは閻氏が主唱した張蔣閻の三角聯盟を作り馮、唐を討つのであり、その二は、馮氏が主動して張を斃す爲に、馮、唐、蔣、閻の大同團結を作るにあつた。

然し張蔣の妥協は張氏にとつて不利多く、爲に保守派は非妥協派となつて協力反對したので、三角聯盟は不成立に終つたが、北伐軍側の提携は六月中旬、屢々馮、唐、蔣の各氏の間に會見が行はれたので、閻氏も中立を出でゝ國民軍に投じ、南方勢力の大同團結は成立した。

一方大元帥に就任した張作霖は、大に內政改革に力を注ぎ、新政を施さうとしてゐる。

第二次出兵中止

出兵以來一ケ月餘、戰亂が濟南地方に波及しなかつた爲、青島に立往生してゐた我派遣軍は七月五日、突如濟南方面に進出する事となつた。即ち孫傳芳部下陳以燊の裏切りによつて、山東が危機に瀕したからといふ理由であつたが、陳は其後又北軍に戻つたので、この第二次出兵は見合せとなつたが、此政府の態度に多數の不滿があり、むしろ濟南の邦人を引揚しめた方が大局より見て策を得たものといふ評が多い。

▼川崎造船融資問題

十五銀行の休業から、同行に多くの資金を融通されてゐた川崎造船所も危險に瀕したので、目下同所で巡洋艦二隻、潜水艦四隻を製造中の政府は、國防上重大なりとして、政府の手で救濟すべしと、まづ大藏省原案により、遞信省の預金部から、三千萬圓を日本興業銀行に融通し同行から川崎に貸出させる計畫を立てた所、興銀は「萬一川崎から回收不能の曉には政府が責任を負ふといふ」保證を要求したので、これは憲法違反だといふ說が政府部內に出て事が纏らない內に、山本農相から、別個の救濟案が提出されたこの案は、川崎の造船工場のみを引き離して、第二豫備金から政府が責任支出を決行して、國家委任管理とすべしといふのであるが、これに對して三土藏相が反對を示し、爲に內閣の議論も二つに分れ結局田中首相一任といふ事になつたけれども、突然大倉組が數年前から係爭中の銑鐵訴訟の進行から假差押を斷行する、更に一方川崎裏書の七百萬圓の手形もあつて、三千萬圓では救濟が出來ない爲、入日の閣議で救濟打切りを聲明した。同造船所は愈運轉資金に窮し、一先づ造船工場を閉鎖する事となり遂に、廿三日三千余名の職工を解雇したが、目下建造中の巡洋艦、潜水艦に對しては、國防上建造中止する事は出來ないので、海軍で工事を引繼ぐ事になり、其經費は、昭和二年度追加豫算として、次期議會に要求する事に決定した。

▼松島事件の公判

大阪松島遊廓事件の公判は、十一日から六日間、大阪地方裁判所に於て開かれ箕浦勝人氏を初め、高見之通氏以下問題の中心人物は全部出廷した十六日證人申請決定の結果、若槻前首相、床次竹二郎夫妻、其他が採用され、第二公判は九月一日より十日間と決定した。

▼郵貯地方還元

過日の銀行恐慌の結果、郵便貯金は四月以降六月までに二億九千萬圓の激增を見たので、利拂五千萬圓を差引くも、二億四千萬圓の增加であるといふので政府は此の半額の一億二千萬圓中八千萬圓を長期の地方債へ投資し、四千萬圓を低利貸附として地方に融通する事となつた。

▼東京聯合婦人會軍縮會議へ打電

東京聯合婦人會では十四日ジュネーブに開催中の軍縮會議に對して、我全權齋藤氏夫妻に宛てゝ激勵の電報を發し、同時に米國のキャット夫人、英國のフォーセット夫人宛に、英米兩國婦人が各自國全權に對して激勵する樣希望する旨打電した。

▼東京女高師に紛擾

東京女高師の吉岡新校長が學校改革の手初に幹事制をしき、生徒課幹事を男教授に任命せんとした爲、主任生徒監岡田みつ氏は辭任を申出でゝゐた折柄、何等理由の明示なく他の一生徒監を休職とした爲遂に卒業生有志は、傳統擁護、女子教育權確立の旗印の下に蹶起、校長及文部當局に陳情すると共に、在京生大會を開き三千の校友に檄を發し、大に社會輿論に訴へて學校改革を斷行しやうとしてゐるが、東京聯合婦人會、女子教育振興會等積極的援助の態度に出づる模樣である。

婦人界片々

□ 相不變慘話相次ぐ。幼兒五人を殘して亡夫を追ふた女。女房が姙娠するとわざと入獄して扶養の義務を免れる夫に對して四兒を抱へ自殺を計つた女。母子扶助法のない國にふさはしい話。

□ 米國から送られた人形の答禮に、日本も木彫、振袖姿、箪笥、鏡臺付の人形を送る事になつたのは結構ながら、この相談に女の人を加へたか如何が疑問。この前人形の歡迎式の時殆ど男手で計畫してかなり失敗があつた事をお忘れなく。

□ 女子教育振興會、近來大に振ひ、水野文相及兩次官を招いて、聲明書を發表しまづ女子の高等教育門戶開放を迫り、女高師問題にも決議を揭げて當局を責むるは快哉。然し乍らこの委員會にも保守派を承るもの婦人委員なりと聞くはうらさびし。

□ 日本女子教育の淵源、お茶の水女高師に學校騷動起る。傳統を無視する校長の不法な改革に、卒業生が憤慨して、反對の猛運動開始。何はともあれ、あの學校の卒業生に、それ丈の勇氣が出た事が、まづ欣快至極。

□ 愛國貯金運動に益々必死なのは婦人よりも內務省內相自ら二百の婦人と懇談。片々子重ねていふ、愛する國の爲に外債償還の一日一錢貯蓄は結構、只問題は其金が果して外債償還に費せられるといふ責任ある言明を誰がするのかといふ事。感謝して差出した金が、飛んでもない事の尻拔ひに濫用されない覺悟をまづ第一に。

□ 十六年女工生活で一萬圓貯めた東洋モスの女工さん、表彰式に社長の贈物が置時計一個。一人の表彰女工の蔭に何人の犧牲者がある事か。時も時小名木川富士紡工場閉鎖に數千の女工手當なしに歸鄕せしめられ、不當を叫んで工場長宅を襲擊す。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子高等師範問題

時評

與謝野晶子

◇

人を排斥すると云ふやうな事は異常の事ですから、何か確かな正しい理由が無くてはならず、理由はあつても其れが正しいか何うかと云ふ問題になると考へて見ねばなりません社會には圓滑に若くは巧妙に人を排斥する手段が行はれます。官吏で云へば『諭旨辭職』とか『依願免官』とか云ふのですが、罷めさせられた側は、さう云ふ場合に不滿な心持が殘るのは人情でせう。其れが正當な理由の無い排斥である場合には、忍從しきれないで他の公平な批判に訴へると云ふやうな事にもなるでせうまた正義を擁護したい心と他人の不幸に同情し其れを救ひたい心とを持つてゐる第三者は、本人は忍從して居ても、自分達から進んで不正不當の排斥を敢てした人に反省を促し、其人の内に痲痺してゐる人間愛と正義との醒覺を求める事にもなるでせう。其人が素質の良い人で、過ちを容易に改めて善に遷る自由性と優雅な感情とを持つてゐれば宜しいが、小さな權力の地位にせよ、其れに久しく慣されてゐる人々は、大抵頭腦が一つの思想のままに石化し、新しい人々が不正不當と考へる所をも自分では正義と信じ過し、他人の忠言などで反省も悔悟もしないものです一家の中にさう云ふ人が權力を持つてゐるのにも困りますが、更に官衙とか大會社とかになると、同樣の人が官僚式の思想と態度とで權力を揮ひ不正を敢てしますから、其れを見かねて他から抗議する第三者は、最上の手段として其れを社會の批判に訴へ、社會的正義の制裁で、反對に其人を權力の位地から隔離せしめると云ふ事になります。

◇

東京女子高等師範學校の新しい校長吉岡さんが、三十年來生徒監を勤めて居る女教師の位地を巧妙な手段で男の教師を以て代らせやうとし、また同じ一生徒監を勤めてゐる一人の女教師を理由なく罷めさせた事が他の生徒監たちの辭職の申出でになつたばかりか、同校の多數卒業生を憤慨せしめ、現に其事が社會に公表されて問題となつて居ます。私の思ふ所では生徒監のみならず教育者全體の仕事が代父代母の重任に當つて居るのですから、適任者でさへあれば女が勤めても男が勤めてもよい。女子ばかり、男ばかりと云ふ偏した遣方は善くないが、學生も男女共學教師も男女共用が善いと考へて居ます。偶ま女教師の適任者が生徒監を久しく勤めて居たから、此後も其傳統を重んじて女子の生徒監を用ひねばならぬと云ふ道理は無いのですが校長が其生徒監を罷めた眞實の理由を既に卒業生達に問はれた以上、明白に公表しないのが間違つて居ます罷めさせる正しい理由は停年に達した場合の外には「不適任」と認めると云ふ一つがあるばかりです。『正直』と云ふ事は小學校から教へてゐる德目です。事務官であるよりも教育者である事を重しとする校長が、なぜ正直に其罷免の理由を云つて社會を首肯させないのでせうか。其處に公明で無い官僚式の秘密主義があり正しい理由を持たない校長の後ろ暗さがあり、引いて校長の『人』としての性格と教養とが疑はれ、轉じては教育者及び校長としての『不適任』が想はれると云ふ事になります。是れは一人の吉岡さんばかりで無く、總べての校長級の教育家に反省して頂きたい事だと思ひます。

◇

卒業生達が之を機會に女子の位置の尊敬を母校と文部省とに要求してゐる事にも私は同感します。殊に我國に於ける最高の教育を受けて、思想からも教育者としての實行からも日本婦人の先頭に立たれてゐる卒業生達が之を要求せられるのは、十分に其資格がある人達の要求として心强さを感じます。私は以前から、女子の思想を自由にし實力を擴充する便宜の一つとして、大臣にも樞密院議員にも、大學總長、全權大使にも到り得る位置の開放――實力さへあれば男子と共に總べての高い位置の椅子をも占め得る道の開放を要求しその開放が女子の向上心を自ら策勵させる一つの標的なり機會なりに大きく役立つものと信じて居ます。明治以來女子高等師範學校が唯一つ高等教育の門戸を開いてさへ、年々多くの優れた女教師達を卒業させて男子に依らぬ獨立婦人を植え附け、其れがまた一般の若い女子の好學心と獨立の氣象とを刺戟する力となつてゐるのを見ても、その學校の卒業生達の要求は正當過ぎる事として社會に是認せらるべきであります。文部省の若い官人達には既によく此事が理解されてゐるのですが、却て高等學府の校長級や老教授達には未來を嗅ぎ知る官能が缺けてゐるので、新しい人々の氣分と思想とが解らないかも知れません。

校長の吉岡さんが、若しも、女子は生徒監と幹事との職務にさへ堪へないものとし、女性なるが故に二人の教師を排斥されたと云ふのであつたら其れは今日に於て全く理由とならないものですが、まさか其れ程までに舊い男尊女卑思想に立脚する校長が現存しようとは想像されません私は正しい理由の公表を校長に望む一面に、一般の女子が卒業生達の勇敢な抗議を各自の重大なる問題として考慮せられる事を望みます。

桐生市に市川女史を迎へて

高桑菊子

山峽の町の女よ何ときくをみなのために君が宣ること
烈日の眞夏のもとに君が云ふ言の葉こそは火とも燃ゆらめ
日の本のをみなつよけれ正しかる道に生くべく君が云ふ時
をみな子の胸にたゝまるその思ひ君說きあかしのこるくまなき
をみな子の幸のためとて汗あえて眞夏の壇に立つ人
知らぬ人ふたり向へど一脈の流るゝものよ親しみと云ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時の問題

此の頃の婦人雜誌の傾向を如何お感じでせうか？

◇ジャーナリズム萬歲の世

生田花世

最近の出版界の混亂一圓本の出現といふことによつて脅かされた婦人雜誌當事者が、その實行上の手段として四苦八苦の苦心といふことがあり／＼と感じられます。

しかし、益々、黃色新聞、娛樂雜誌（男の心に訴へようとする）めいてゆく婦人雜誌と、中間にふみとゞまるものは、今に、相當はつきりしようかと思はれます婦人雜誌のみでなく、時代といふものがます／＼ジャーナリズム萬歲の世の中になるのです。非營利的な淸純な婦人生活の指針になるものゝ生長が心より望まれます。

◇寧ろ書籍を購讀せよ

堀越千代子

現代の婦人雜誌の傾向の餘りに輕薄なのには驚てにが／＼しく思つて居る一人であります。讀者の卑しい好奇心をそゝつて賣物にするなど全然感心の出來ない事と思ひます。「夫を取られぬ秘法」などといふ標題に至つては、我が國婦人の權威の無さを臆面もなくさらけ出して居るのであります。こんな記事で雜誌を賣らうとするものも惡いが、こんなものを爭つて買つて讀む我國婦人の低級さも思ひ知られます。

婦人雜誌はやはり我國婦人の木鐸を以て任ずべきもの、其の意味で記事を精選されたいものであると存じます。又、我國婦人も徒らに罵ばかりでなく、本當に自覺をし、讀書眼を高くせられたいものです。若し高級な婦人雜誌が見當らないならば、かゝる低級な記事に親しむ費用を以て、三ケ月一冊なり、纏まつた有益な書籍を購讀せられるやうお奬めいたしたいものであります。

◇何時まで續く？

岡田松枝

男女問題もよくまアあんなに種もつきず、あきられもしないと思ふのみです。そして性の問題を扱ふことを笑つてゐる雜誌がまた同じ徹をふんで行くやうに見える傾向も皮肉ではありませんか。何時まで續くでせう。婦人雜誌ももう新機軸が出てよいときであると思ひます。

◇私共の恥

水町京子

にがにがしい限りだと思つて居ります そしてあのまゝ放つておくのは私共の恥だと考へてゐます。

◇せめて机上を汚す勿れ

守屋東

讀む人があるから！それを要求するからなどゝいふ事は別として、あまりに露骨な昨今の婦人雜誌は（大部分は男子がよむといひますが）誠に人々がよるとさわると問題になつてゐます。

それなのに賣れて行く事實は現代人の程度を表はして居るものとよりは考へられません。少なくも婦人達は人と共に見、讀みにくい書を机上にもたぬやうに約束したいものです。

◇編輯者の責任を問ふ

竹中繁

とにかく婦人雜誌の多くが決して婦人の味方でない事を見て、私は心淋しく思ふのです。根本に於て、その名の負ふ使命を盡す積りでない以上その時々の傾向なんていふ程の意義の下に婦人雜誌を扱つてゐるのではないでせうから、姑息な戰ひを挑んだつて、何處を風が吹く位にも効果はありますまい。深刻な女性の戰ひが、こゝにも待つてゐます。「夫を取られぬ秘法」「夫操縱の秘法」なんてものはまだ僞らないだけ罪が輕い、婦人の文藝雜誌見たやうな名をつけて內容はさうでない〇〇といふ雜誌の最近號に掲げた「自由戀愛と吉岡彌生」と題した長文は一體なんですか、驚くべき許りの人身攻擊です。何を目的に記者はあれを書いたか、編輯者があの記事に責任を持つのか私は問ひたい。問題は決して、女史一人のものではない。全婦人が蒙つた甚しい侮辱です。あの雜誌の記者と編輯者の責任を問ひ度いのです。

◇ボイコツトに出てよ

山田やす子

財界不況で見苦しい商取引が行はれてゐる樣に、不況時に於ける妾君募集者（經濟的に不獨立な）のしがむりつきの樣な現實を曝露したものが、一般民衆といふか婦人といふかに歡迎される事は事實らしいので賣らんがための雜誌はその傾向になるのはあたりまへでしようが實に澁面を作らずには看過されないことです。婦人はそうした雜誌に引きづられて行かないで自分達でドンドン、ボイコットしていつたらいゝと思ひます。

◇はら／＼する廣告記事

小寺菊子

あまり激しい性の問題、夫操縱——妻君操縱新婚初夜の感想——といつたやうな殊にはら／＼する廣告記事の偉大な事には全くなんとも苦々しさに堪へませんあゝいふものがよく賣れるのでせうか、もしさうだとすると隨分考へものだと思ひます。

◇曝しものゝ辱め

井上三保子

この頃の婦人雜誌の傾向は、婦人のための雜誌といふより、男の人の前に女の醜い姿を裸體のまゝさらけ出して考へのある婦人を辱しめ、無恥の女を益々愚者扱ひにし、そしてたゞ、却つて男性の婦人に對する低劣な興味を呼び起すやうなことに役立つ位の所ではないでせうか。

一體私達は、いつまでこんな所に立たされ曝しものにされてゐなければならないでせう。こんな生活の眼目から一般の女ももう卒業しても好い筈です。

◇いづれ廢れるにしても

大窪けいし

此の頃の婦人雜誌には、いはゆる何とかの秘訣の公開とかで持ち切つて、それがなければ婦人雜誌と云はれぬと云ふ樣な意氣。

之は矢張以前の告白物と同じ樣に、一種の流行で、又じきにすたつてしまふ樣になるでせう。告白物で挑發的な廣告をして、初めは可成讀者を集めても後には又告白かと眉をひそめさせました。大同小異、あきられてはならじと頭をしぼつたのが之でせう。一般の進步ではあるがやはり人の知られないものをのぞこうと云ふ心持、それはエヴァの子たちの必ず持つてゐる通有の心持、それを利用したまでの事、確かに賢こいやりかたですが只うか／＼と上すべりと云つた感はまぬがれません。も少し堅實さが有つてもそのために讀者がなくなるほどに婦人はお安くもないでせう。

◇媚態を映す鏡

鹽原靜

現在程度の、婦人雜誌の存在は、女子を侮辱するものであると思ひます。女子が人間として無智な者であるかを。男子に對してどんなに女子が差別されなければならないほど、低級なものであるかを。

婦人雜誌がどんなにか多くの愚妾娼婦を作る事の源泉であるかを思ひます。婦人雜誌と云ふ鏡に向つて多くの女が、猿のように種々な媚態を演じてゐるかと思ひます。

◇阿諛的肉體萬能書

高野渓子

私は子供の時から婦人雜誌に興味を有た事がなく、從つて一向讀みませんでしたが、近來、餘り若い方々が讀んでゐるのを見受けてからは、新聞廣告によつて是非各雜誌の每號の題目と、記者の御姓名だけは目を通して居ります。

一般の傾向として、僅かに營利を目的とせぬものだけは內容も高尙に見受けますがその他は發刊最初の數號を除いては何れも在來の阿諛的肉體萬能書と化して居ります。從つて定まつた高い理想の無い人々の記事が益々殖える一方で誠に遺憾千萬に存じます。

此等は若き少女の純心を傷け彼女等を惡導するのみならず、實に嘲弄して居るものと申して差支ないと思ひます。

どうか第二の國民を思ふ母心の一致努力によりまして、その改善の日の早やからん事を祈ります。

◇低級な惡趣味

多川澄子

廣告を見たゞけに愛想をつかして、近來婦人雜誌を餘り見た事がありませんが過去二十年——十五年以前のそれに比し確かに墮落してゐます。まるで新聞の三面記事を敷衍したものか、藝術味の乏しい所謂家庭小說、世間的諸名家の無責任な認迷論、殆ど卷中大半を占むる盛澤山な廣告、等々病後の退屈しのぎでもなら兎に角、讀めば馬鹿らしくて腹が立つ位なものです。

然し中には二三、稍眞面目なものもありますが、これも餘り固くすると讀者が減じて了ふから、時勢の潮流に從はざるを得なくなります。こんな惡趣味な低級な雜誌を買つて讀む婦人、お化粧の話の會なら、いつも滿員の盛況を告げ、高尙な社會問題や思想の話の會には男子ばかり集るといふ現狀を見ては、婦人參政權も前途遼遠と悲觀せざるを得ません。

◇一切に觸れず

林歌子

此の頃の婦人雜誌は實に苦々しく感じます。どこ迄競爭の樣に、あゝいふ風になつて行くのでせうか。私の知れる思慮ある一人の夫人（三人の男子の母）は家庭に決して婦人雜誌を入れませんと申さるゝを聞きました。私も一切手に致しませ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ん。營業本位で讀者に及ぼす影響を考ふる暇がないのでせうが。

◇夫も料理や手藝なみか

關口多子

婦人雜誌は通俗的でなければならないといふ事が、目標であるにしても、この頃の樣に「夫を取られぬ秘法」だの「夫操縱の秘訣」だのといふ記事は、やめて貰ひたいものです。お料理や手藝と一視同仁に夫を取り扱はれたりしたら、夫の方でも餘り嬉しい氣持はしないだらうと思はれますが、然し女性の人格と尊嚴とを無視した樣な記事が、家庭の御婦人達に歡迎されるといふならば、問題はありませんが。

◇消費者の頭の改造

中澤美代

生產は消費の爲である。消費者の欲望を充さんが爲に生れ出るものが總ての生產物である。銀座の街頭に輝く貴重品も場末の裏店に陣取る格安物も召される顧客があればこそです。この意味に於てあゝした記事を歡ぶ消者を顧客に持つ婦人雜誌が何を苦しんで獨り浮世の外に脫出した昔の君子を學んだりする必要がありませうぞ。目下の急務は消費者の頭の改造である。讀者側の敎育である。然る後理想の生產物、否まじめな婦人雜誌の賣れる時も參りませう。

◇婦人の無自覺を悲しむ

三輪田繁子

此頃の婦人雜誌の傾向は少しも良いと申されません。但し世に自覺せし婦人の少い證據として悲しく思ひます。けれど將來必ず反動が來て、雜誌の體面を改める日があると信じます。

◇讀者心理の表現

秋山花子

曰く何、曰く何と目に餘るやうな記事を並べたがるのも要するに一部の讀者の心理を表現してゐるやうなもので、それにつけ込んで書きたてるといつたやうな現今の雜誌界の有樣をほんとうに情なく思ひます。雜誌の使命といふものをもつとまじめに考へていたゞきたいものです。と同時にさうした讀者の多いといふ事は、又女性全體の恥でもあります。其點はお互ひに深く考へなければならない

茨城行

金子しげり

○

農民黨の北山氏から、水戸の近邊で演說會をやりますが、行つてみませんかとの話。農民黨の主催なら農村の婦人も出席するかも知れないと、仕事に忙殺されさうであつた二十日余りの閑勞を、お手盛できめて同行を約した。即ち七月五日朝上野を立つて、同日午後笠間町翌六日水戸市、二つの講演を濟まして、六日夜歸京。

○

岡本の洪水と、から梅雨の旱天で咽喉の乾上りさうな都會を後に、たつた二日の旅にでも出る事は、車窓から稻田を眺めるだけでも大きな喜びになるのであつた。丁度立つた夜の雨で、すつかり田はうるほつてゐた。それにその朝も降つてゐたので、沿道の綠は實に鮮やかであつた。

□

笠間は人口一萬許の小さい町といふのは名だけ、併し町の中心は東京にも出店のある笠間稻荷で、この社の周圍に數十軒の怪しげな家があり、約四百人からの所謂お狐さんが居るさうな。何樣、町にたゞ一つの私立女學校の生徒が、折柄の雨に、待合から學校に寄贈した待合名入りの番傘を肩に登校しやうといふ勢ひ、夕となれば我々の泊つてゐる旅館の前後左右から絃歌の聲が湧き起り、更くるも知らぬ町であつた。

女は大抵九十九里から三四百圓で來るとか、路次といふ路次の入口には口入屋の看板がかゝつてゐた。

⊙

演說會はこの町の自治會館で開かれたが、政談は好きでも婦人問題は初めてといふ樣な中老以上の人が多かつた。それ丈に半疊を入れずに中々興味を感じて聞いてくれた。にや〱して聞いてゐた數人の町の人らしいのは、後から聞いたら待合の主人たちであつた。とにかく女は、役場の小使ひさへも見えなかつた。

○

水戸は烈しく雨に降られた。それでも商業會議所の樓上には相當集つたが、やはり女の影は一人もさゝなかつた。此市の婦選の會員の人にも通知はしておいて貰つたが、矢張無產政黨といふ事が煩ひにでもなつたのか、顏をみせて貰へなかつた。

どうせ農村の女の人が一人も來ないならとこゝでは、前から貰つてあつた演題通りに、「婦人參政權と政界革新」の題で一時間以上もやつてしまつた。農村の青年らしいのが、處女會の話や、愛國貯金、勤儉獎勵の話に亘ると、ひどく感激しては激しい拍手を送つてくれた。きつと其方面に意見のある人なのだと思つたが話す折は得られなかつた。

○

二ケ所とも、主催者の骨折に比して量的の成功を得られなかつたが、私は、此爲に奔走してゐた青年たちの態度に感じさせられた。其一人は、前日迄に田植を濟ませやうと大變な努力の結果數日の暇を作つて、自村から出て來てゐた。

次の日の、爭議中の某村への集會には御免を蒙つて卽夜歸京する事にした私は一先づ其夜自村に歸る其青年と同車して數分間を話した。その村には處女會もあるが何にもしてはゐない。會長は小學校長である。女學校を出たものも殆ど何にも働いてゐない。かう話した後で、彼はいつた。『男もだめだが、女がだめですね。』

暗の小驛で、日焦けの強い其青年は丁寧なお辭儀を殘して降りた。夜道を數里家に歸つて明日は又某村にゆくといふのだつた。

◇輿論の力を俟つ

逸名氏

お問ひ合せの「此の頃の婦人雜誌の傾向」については日頃から甚だ遺憾に存じて居ります。雜誌本來の目的が只營利にのみあるといふなら何も申す事はありません。然し少しでも婦人を高きに導かうといふ目的なら全然目的に反してゐると思ひます。

徒らに好奇心を挑發し、羞恥を奪ひ、趣味を傷けてゐるやうに思ひます。どうか健全な婦人の輿論の力で、斯る傾向の改めらるゝ事を切望します。

◇何等期待せず

城ノブ

現代簇出する雜誌の多くは其內容思想低級にして、しかも歡迎さるゝ讀者の多きを見て我等の理想の遠きを悲しむものにて、之等の雜誌によつて所謂世間の知識は得らるゝならん―賣女娼婦の心意を學ぶならば。若しこれだけならば、婦人の思想の如何にも低級を憂るものなり。

私は今日散在する婦人雜誌には期待を持たない。一般婦人がもつと高く敎養されて妻として母として眞つの道は純潔と眞愛なりとの自覺に立ちて、雜誌の內容も愈改まり來る事を期待して止まないのです。

◇結局は婦人の敵

無名氏

資本主義社會に於ける婦人雜誌は、如何に美しい假面を被つても、結局は婦人の敵です。といつても私は、今日の婦人雜誌が、女性に齎らす利益も相當寛大に認める者ですが―要するに、婦人雜誌が商品である間、經營者が賣る爲には、どんな手段でも講じるのは、今日の社會では仕方のない事ですが、殘るのは、その犧牲にされる讀者です。

讀者の頭さへ高ければ、もつと高い程度の婦人雜誌が生れると、いふ事は、よく考へられる事ですが、其頭を高めるといふ事が、一寸手輕く出來る仕事ではありますまい。

淸純な、眞に婦人の爲になる雜誌は、余程强固な經濟の基礎のない限、漕ぎ出しても〱片端から破船するのは、寧ろ當然です。

此場合、輿論の力だけが、女をだしに、營利を貪つてゐる當事者達に對して、聊か痛味を感じさせるものでせうが、實際上、それ程有力な輿論が、まだ婦人の間から起らない樣ですから、其間は、彼等は高枕で、怒り無智な女性を相手に、金もうけをやるでせう。

とにかく、有識階級の婦人の間で、もう少しこの問題を自分たちの問題として本氣で考へて貰ひたく思ひます。

◇罪は編輯者に

道子

もう十年來、所謂婦人雜誌といふものは、手にしたことがなく、只新聞の廣告で內容を想像する程度の智識しか持つてゐませんが、なぜあゝしなければならないのかといつも感ぜられさせられてゐます。

讀者があゝしたものを要求してゐるといふことがいつもその理由にあげられますが、それよりも經營者編輯者自身の興味本位、營利本位に禍されてゐる事の方が多くはないでせうか。

編輯者達の態度がかはれば少しよくなるに違ひないと思ひます。

フース・シー

與謝野晶子氏 歌人として評論家として、近くは文化學院學監としての夫人を、今更紹介の要はあるまい。夫人は婦選獲得同盟の熱心な會員で常に文學方面から、この運動を援けてゐられる。其時評は近時益々冴えに冴え來つた感がある。

高桑菊子氏 桐生高工敎授高桑氏の夫人。目白女子大の出身で、最近まで附屬に敎鞭を取つて居られた方、歌人としても相當に古い。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦選講座

英國婦人と參政權（その六）

ガントレット恒子

ロイド、ジョルジ内閣

選擧法改正委員會が組織せられ、着々研究の歩を進めつゝある間に、アスキス内閣の瓦解は近づきつゝあつたのでした。一九一六年（大正五年）十二月半には、遂に首相の椅子は熱心な婦人參政權論者であるロイド・ジョージ氏の占むる所となりました。光明を望みつゝも時々は氣ぬけのしそうな婦人參政權獲得運動にも空の一隅に陽るさを確に認むるやうになりました。黎明は近づいたと氣付いた婦人達は此期を逸せず死力を盡して目的の貫徹に努めやうと一齊に突進しました。

翌一九一七年一月には、過去三ヶ月半に渡つて開かれた選擧法改正委員會の報告が首相の手に渡されました。其によると三十二ケ條に亘る條目の中、婦人參政權に關するものは滿場一致とまでは行かないながら、とにかく大多數の賛成を得て居りました。然し其提案が全部容れらるれば、婦人の資格年齡は、男子の其よりも遙かに高く且つその資格は女戸主にのみ限られて、戸主の妻を除外してゐましたから、婦選の理想には遙かに隔があるのでした。けれども理想へ向ふ一歩としては、見逃し難い重大な、ステプであることは確かでした。今までの反婦選論者の論據とする所は、女子が人口の過半を占めて居る英國に於て、男子有權者と資格を同等にすれば、有權女子の數が男子の其を凌駕することゝなり、從つて議會政治が婦人の手に移るだらうと云ふ事であつたのです。其故此點に於て暫時讓歩して置けば婦選案の通過は疑ひの餘地がないやうに見えました。其故參政權協會は此案の通過を見定めて置いて、おもむろに資格年齡の低下、戸主の妻にも有權資格を與ふると云ふ修正運動を開始しやうと云ふ方針を採りました。

時の勢力

玆に注目すべき事實は、改正委員會の發案者であつた、ウォルター・ロング氏も、賛成者のアスキス氏も委員長のローザー氏も皆反婦選論であつて、其上此委員會は超政黨的のものであつたにも不拘、大多數の賛成を得て、婦選案が通過した事は、確に時の齎らす力の現れとして見逃すことの出來ないことであります。

下院の婦選案

アスキス氏は、一九一七年（大正六年）三月廿八日に婦選案上議の日程を早めるの動議を提出しました。そして其は殆んど滿場一致で承容せられました。參政權協會は討議の進みにつれ議會の趨勢が益々同案の勝利を確定するやうに見えたので、新たに勞働黨の力をかりて、委員會提案を擴張して地方政府選擧に於ても女戸主ばかりでなく、戸主の妻にも有權資格を與へるやうにとの修正案を提出させやうと猛烈な運動を開始しました。最初ジョージ、ケーブ氏は强烈な反對を試みましたが、遂に十一月十四日には特別委員會を開いて其可否を討議し、愈々熱心に政府を動かすことに努めた結果、十一月廿日には、容易に此の修正を容れやうとしなかつた政府も、全く其態度を一變し、十二月七日には記錄朗讀に相次いで、其夜の中に而かも滿場一致を以て、第三讀會を通過しました。

第二難關と最後の勝利

難戰の後先づ無事に下院を通過した婦選案も、尚其行く手には、多くの保守的貴族や、頑迷な元老達を網羅した上院といふ、難所が立ちふさがつて居りました。しかし、一九一八年（大正七年）一月九日から三日間に亘つた大論戰の經過は、決して悲觀すべきものではありませんでした討論終結の十一日頑固一徹の反婦選論者として有知な、カーゾン卿は立つて、一場の型の如き反對演說をしました。そして一息ついて、更に言葉を次いで、

「然しながら、該案は滿場一致を以て下院を通過し本院へ送附せられた吾人は依然反對論を保持するものであるけれども、若し上院が下院のかくまで根强い意向を承認しない結果上下院の間に衝突を來すに至りはせぬかを恐れるものである。諸卿の投票は自由である、敢て自分は干涉しない。只自分は一個として、下院の決議を尊重し、しかも自分の主張を傷つけない爲に此の場合棄權するより手段はない」と結びました。申すまでもなく議塲は憤激した反對論者と狂喜した參政權協會員の、ざわめきで沸騰しました。記名投票の結果一三四對七一の大多數を以て該案は首尾よく上院をも通過しました。カーゾン卿にならつて棄權した十二名の貴族が反對の一票づゝを投じたとしても確實に勝利を得る事が出來たのであります。

皇帝陛下の批准は同年二月六日に下りました。かくして、メリー・ウルストーンクラフトが婦權擁護を叫び初めてから百年、ジョン・スチュアート・ミルが此問題を議會に提出してから五十年間、英國婦人が凡ゆる奮闘と不屈の努力を續けて來た參政權は獲得せられました。誰しも苦闘の日の長かつた事と共苦闘に依つてかち得たものが理想には程遠い、制限選擧であることを見て、驚き且つ不滿を感ずるを禁じ得ないでせうしかし、顧みて、男子の方を見ても一八三二年選擧法改正の聲が揚げられてから、戸主である男子に投票が與へられるまでには、矢張五十二年の長年月が費されてゐます。而かも男子が七百年餘に渡る、自由自治の歷史を以てゐてさへ斯くあつたのに反し、女子は全く長年月の間屈從と隷屬の網に縛られてゐたのを考へれば、英國婦人の忍耐した五十年は決して長いものとは云へないでせう。

英國婦人達は、此一段落の成功で決して滿足休止してゐません。以後引續いて婦選擴張に努力して來て居ります。本年四月十二日、ボールドウヰン首相が下院に於て婦選擴張案に關し聲明してゐる事は確に英國婦選運動が最後の幕の切り落される處まで進みつゝあることを示して居ります。英國婦人の努力と熱誠に向つて敬意を表し且つ最後の勝利を祈りつゝ此稿を終ります。（了）

硝子窓

今月は少し第一線の方々でない方を御紹介しませう。七月初、田川大吉郞氏の當選歡迎會の席で食卓のまだ開けない間、來客達の間を斡旋してゐた守屋東女史高野溪子女史を見るや否や、「婦選を拜見しましてよ。硝子窓を。」とやると、隣席のガントレット夫人、「私はまた、此間の講演會上で刷り立ての七月號を讀んですぐ後で、御同伴のお姿を拜見した上に、御紹介も受けたのよ。」とにかく、かく諸女史が婦選の隅々まで御讀み下さる事は、嬉しい限りとの御報告まで。

◇

東京聯合婦人會の委員長で、大の婦選黨の吉岡彌生女史、乳癌で手術後、見舞に來る數へ子を、一人〳〵つかまへては曰く『どうです。御飯はたべられますか。』數へ子達、先生の先手に、まづ其元氣を喜び乍ら『おかげ樣で。』と云ひ合せた樣な返事に、先生大喜び。蓋し何よりもまづ經濟的獨立。そこを摑んだ先生なればこそ婦選の叫びもつよい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

農村に還る姉妹を望む（續）

竹内茂代

四、農村は貴い

前に述べました様に、農家婦人は働いて居ます。けれ共其經濟生活に社會生活に甚しい壓迫を生じてゐます。これ一面には現代社會組織の不備によると共に、一面には少しは學問を與へられては來たとは申せ、聰明を缺いてゐることがその一大原因をなしてゐるのであります。

私には御承知の通り青少年期の全部を農村に費したものでありまして其後二十數年間といふもの都市に生活して居るものでありますので、農村と都市との兩方面を相當に理解して居るものであります。

この私の經驗と職業上の見地から致しまして、農村について一つの新しい理想を描いてゐるものであります。

第一に私は

農村は貴い

と云ふ事を深く／＼信じて居ます。若し眞に人間らしい生活を營むことの能るところは何處かと問はれますならば私は少しの躊躇もなく『農村』と應へます。

けれ共今日のまゝの農村は、餘りに多くの疾患を持つて居ります。私は更に改善された農村を考へてゐるのであります。

五、農村は立ち行ける

第二に

農村は立ち行ける

と考へてゐます。

これは今日の多くの方々が農村は立ち行かないと仰せられますことをお聽きする度に胸を打たれる問題です。現在東京市のうちに在りながら私自身の問題の様に胸中を往來してゐる重要な問題でありまして、種々の方面からも又いろ／＼な方々から意見をうかゞつたり、考へたりして私はこう結論して居るのであります。行き立たないのは、行きたゝないのでなくて、農民自身が行きたゝせないのである。ことに婦人の力が一向に振つてゐない。まだ／＼考へてやつて行ける筈のものを不問に附して居るのだと思はれることが、少くないのであります。

六、農村家庭は國家生活の礎石

第三に

農村家庭は國家生活の礎石である

と信ずるものであります。あの根強い農村の歴史と、家々の有つ、辿つても辿つても達し得ない家系に根を下した家庭の力、安住の心持ち、その子女に及ぼす薫化を考へます時に恒に新しい歴史はその泉から流れ出づる様に思はれてなりません。

而してその中堅は母である、婦人である。此の家の中に眞に健全なる立憲的精神が培養されないならば、根底のある政治は行はれないのであります。

七、姉妹よ農村に還れ

此の様な農村も昨今何となく不安の影が多く見えて來てゐます。これを思ふ時、私は一旦農村から出でゝ都市又は高等教育場に於て一廉の教養を積まれた姉妹達が、一人でも多く農村に還り、農家の人として、この農村の新運命を開拓するの勇猛心を起していたゞきたいものであります。

外から農村に出かけて行つて暫時の講演、講習なり、宣傳をしても、とても中から湧いて出づるほんとの農民の力としての政治を見る迄漕附けることは出來ない相談であります。農村の運命を拓く爲めに、眞に志を立つる若き姉妹の奮起を促してやみませぬ。（未完）

婦選運動の陣頭に立つ人々

七、市川房枝女史

伊藤伸子

「一體いつになつたら、市川さんの事を書くのです。」と方々から責められるが當の市川女史は「自分が婦選の編輯人でゐるのに」と、いつの編輯會議でも否決して了ふ。幸ひ本月は佐渡ヶ島に夏季大學の講演にお出掛けの留守を狙つてこれをかく事とする。

つい此頃中新聞を賑はしてゐる女高師問題で、市川さんが東京聯合婦人會を代表して文部省に陳情に行つた後で、文部省のお役人が「一體今度の問題と婦選とどこに關係があるか」と、新聞記者に見得を切つたとある事は、對外的には何といつても婦選の大將として扱はれる市川さんである事を表明してゐる。當の市川さんは、そんなに婦選ばかりがついて廻るのを、不思議にも厄介にも思ふ事がないではないらしいが、世間はさつさと、さう扱つてゐる。

この押しも押されもせぬ婦選の親分も今から十年前、名古屋新聞記者を退めて上京しあの黒い額に木綿着物で、四谷邊の炭屋に間借して、食養雜誌か何かの編輯をしてゐた昔を知る人は少い。大正八年末新婦人協會を、平塚明子氏と創立するや、爾來、全く婦人運動の第一線に立つて、我國最初の議會運動もやつた、機關雜誌の編輯に、講演に、家持ち子持ちの平塚女史を相手に殆んど一切の事務を美事にやつてのけた。アパートメントか何かに住んで、起きるから寢るまで全く額を洗ふのさへ忘れる程の仕事本位に沒頭した。

その次が外遊で、さつさと米國に出かけると二ヶ年半の間だまつて方々へてく／＼と見學に歩き暮し、震災の翌年正月生れ變つた東京へ、これも更生の身を現はしたのであつたが、すぐ國際勞働局に入つた。そして、赤くなつたのか、白くなつたのか、鳴かず飛ばずとの取沙汰も其秋の婦選獲得同盟の創立によつて皆消えてしまつた。

赤い白いを超越してやはり我が市川さんはある意味で新婦人協會の精神を次いでゐる婦選獲得同盟の創立に參加して、最初の會務理事に選ばれ爾來殆んど其地位を讓ける事を餘儀なくされてゐる。

婦選獲得同盟は、新婦人協會に比して組織の點に大に異なる所がある。新婦人協會を愛しその成長の爲に懸命に働いた市川さんが、その沒落を悲しめば悲しむ程、同じ轍を踏まぬ樣に、根底から研究して創られる新團體の出現を望むのは當然である以上、婦選獲得同盟の創立には市川さんの血涙の經驗が礎をなしてゐるといへる。勿論女史一人の手になつた城ではないが。

市川さんはまだ三十路半ばである。本當に働らき盛りである。今後更に／＼大きな仕事をするに違ひない。世間では市川さんは有數の事務家として知られてゐるが、成程女が事務に傑れてゐない今日では、異常の事務的手腕の所有者だが、其所にのみ女史を止めておく事は、或は女史自身の爲のみならず、我婦人運動界の爲にも大きな損失かも知れない。今の婦選は余りにやすく市川さんをこき使ひ過ぎる傾きがある。と同時に、市川さんの方にも外から大將と見做されてゐるくせに時々腰の浮く樣子が仄見えるのは殘念でもあり、皆で考へなくてはならない問題の樣である。

☒電話開通

移轉中であつた電話は愈々開通しました。番號は左の通りです。

九段一七一九番

☒請願書について

先般御願ひしました請願書は七月二十日締切りとなつて居りましたが、これは整理上の都合で、請願書は大丈夫間にあひますから、出來次第御送附願ひます。

婦選獲得同盟

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

麹町だより

◉

たう〳〵夏休みが來ました。此月一杯は、婦選獲得同盟として創立以來初めて寸分のゆるみもない七月であつたと思ふ程に、各委員會諸君の中を奮闘しました

◉

議會運動委員會の請願書發送は此月に入つても各方面から請求があつて打ち切れず約六千枚程、豫定より發送が超過しました。從つて締切も七月廿日よりも多少延期しましたが、七月末近く迄に五割强、署名紙が返送されて來たのは、好成績でせう。殘部は九月早々發送の豫定です。

◉

會員募集委員會の倍加運動は豫定通り七月一日から一週間行はれました。其結果は約七十名(内三割は會友)を得ました。已報二日夜の横濱講演會は、横濱の會員の手で十二分に準備せられ、一萬枚のビラが自動車其他で撒かれ、大變な勢でした出席者は、久布白、市川、竹内、金子、横濱の根本ふみ氏が司會者、八木橋氏は萬事に盡力されました。この會の結果十名の會員が出來ました。

◉

政治教育委員會も、前號報導の如く、七月七日夜、神田青年會館で演説會を開催し、已定の出演者中、田中、八木橋、田島の三氏が欠席の爲高野、竹内、ガントレット三氏に更に金子、藤間、山川の三氏が臨時に起たれましたが、非常に感激にみちたよい集會でした。

◉

財務委員會も前號通りに活動してゐます。フィルム「伸びゆく乙女」いつでも御注文に應じます。試寫御要求の向はお申込下さい。右の長さ七百二十呎と申上げましたが、實は八百三十五呎でした、故訂正いたします。但し値段は舊の通り百二十三圓です。そして御奔走下さつた方に一割の手數料を差上げる事になつて居ります。

尙財務委員會の一年一度の總動員が愈々九月末と定まりました。青山會館で、活動寫眞大會を開くので、約千五百枚の切符を賣らねばなりません。價は一圓五十錢、一圓、五十錢の三種。内容は九月號には確定した所を申上げられます。發表の晩にはぜひ共、御應援を願上げます これで一年分の活動資金を稼ぎ出さうといふのですから、お察し下さい。

◉

出版委員會は、いよ〳〵秋からパンフレットを續々刊行いたします。第一篇はお約束のガントレット氏の英國の婦人參政權運動。氣持のよい、廣く利用されるものにしたいと考案中です。

◉

七日初の中央委員會で、委員長會議が可決され、七月二十五日夜其第一回を開きましたが、成績が大變よく、これならば、來秋からの各委員會の活動は、きつと理想的にゆくだらうと思はれます。尙鷲尾いく氏が中央委員を辭任されましたので、後任として山川房子氏が就任されました。

◉

八月一ぱい各委員會は休會いたしますが、事務所は、毎日午前中だけあける事になりましたから、御訪ねの方は午前中に願ひます。重ね〳〵遲延の電話も旬日中に移轉と決しました今迄附下に住まれた宿利氏が都合で移轉されましたから、御希望の方にお貸ししても宜しうムいます。六、三の二間で十五圓です。

◉

それではお暑さの折から、皆樣御きげんよく御互に來む秋の活動を期したいものです。

編輯後記

□

まづ暑中御伺ひ申上げます。編輯部一同、元氣でございます。

□

本月號は減頁いたしました。お暑い折柄、納涼號を出す譯にも行かない本誌としては、一層手輕く編輯して、次號を、特輯號として増頁したいと存じたからです。

本號も、餘り硬くてはと存じ、多少按配いたした積です。婦人雜誌の傾向についての諸家の御意見、頗る多數集りましたので、最初の豫定を變へて扱つてみました。この問題が如何に目下御互ひの問題として留意されてゐるかゞ明かに證明された事は愉快です。

□

女高師問題は編輯締切後突發したので與謝野夫人に、取敢ず御無理を願つて間に合はせました。御病中の御快諾を實に嬉しく存じました。此問題は次號に大に取扱ふ豫定です。

□

市川氏が桐生に講演に行かれた事を、同市の高桑夫人が歌つて下さいました心のこもつた調べ、嬉しいではありませんか。

□

婦選講座、第一講の英國が漸く終りました。次號から第二講米國を市川氏に願ひます。

□

この頃は默つてゐても、寄稿して下さる方が殖へました。本月も次號に廻した分が澤山あります、

本誌の編輯が中々方々で評判で殊に女人の間で褒められるので、編輯部は少々鼻を高くしてゐますが、勿論大に精進いたします。總てを秋にゆづります讀者諸氏の御自愛を祈りつゝ。(S)

◉本誌定價

一部　金五錢（郵税二錢）

一ケ年　金六十錢（郵税共）

▽代金は前金で拂込は振替で

▽宣傳用として多數の申込に對しては割引いたします

▽廣告料については御申込み次第御相談いたします

故山口政二氏遺兒教育資金募集

婦選案の提出に盡力された故山口氏遺兒のため、同氏の友人知己によつて教育資金募集の計畫が發表されました。

就いては故人の勞に報ゆる意味に於て本會々員及讀者の中から幾分か差上げたいと存じますから、金額の多少に拘らず御寄附下さいますやう御願ひします。

御送金は左記宛で願ひます

婦選獲得同盟内

田中芳子

(婦選獲得同盟事務所でお取次します)

新時代の要求により生れました

優良國産香水

ジヤスミン・ド・フランス

正價一壜 金壹圓 金貳圓

高尙にして爽快なる芳香は必ず皆樣の御氣に召します

市外中澁谷四三五

中央香粧品研究所

産婦人科
小兒科

隨時入院の需めに應ず

院長 吉岡彌生
副院長 吉岡房子

診察 毎日 宅診午前 往診午後

東京市牛込區下宮比町四

東京至誠病院

電話 牛込三五五

産科婦人科
小兒科

隨時入院の需めに應ず

樹徳堂 井出醫院

四谷區三光町一

宅診午前 往診午後

電話 四谷一四六〇番

院長 竹内茂代

本誌定價 一部五錢（郵税二錢） 一ケ年六十錢（郵税共）

昭和二年七月二十八日印刷納本
昭和二年八月一日發行

編輯印刷兼發行人 市川房枝 芝區今入町十番地

發行所 東京市麹町區四丁目五番地 婦選獲得同盟 電話九段一三一九番